

火星2018(序盤期)

黒田 瑞星

2018年7月31日に火星が地球に大接近します。

私が天文に興味を持ち始めたのが1970年(中学1年生)。1971年火星大接近の前年です。その後約30年のブランクを経て、再び天文に戻ってきたのが2003年、火星大接近の年です。私の天文趣味は火星と関係が深〜いのです。

(1) こんな感じでやっています。

21時 床に入る

1時 起床

鏡筒を外に出して外気になじませる

架台に乗せ、バランスをとる

極軸を合わせる

光軸を調整する

ファインダー調整をする

テスト撮影をする

(ここまでを寝る前にできると楽になります)

火星を導入し、ピントを合わせる

カラーカメラで撮影

モノカメラで撮影(空の状態が良ければ)

カメラをはずし、アイピースをつける

火星に目をなじませる

スケッチをする

撤収

3時半頃 床に入る

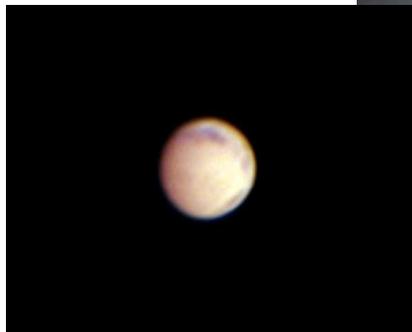
自宅テラスに設置している相棒。じゃじゃ馬で扱いが大変です。



(2) 4月18日から取り組みをはじめました。



5月15日



6月14日

(3) 火星儀を作りました。

以前、星の子館で「火星儀を作ろう」という取り組みがあったことを思いだし、自分でも作ってみようと思いました。

(4) そして入院

5月28日(月)から腹痛が始まり29日(火)に入院。なかなか診断が付きませんでした。結局虫垂炎でした。入院は当初1週間程度と思われましたが、CRP 定量の数値がなかなか下がらず、結局2週間の入院となりました。その間、痛みが治まっているときは病室で星ナビのふろくにある火星図などを使ってのスケッチ練習をしました。1本の鉛筆で階調を出すことや、模様を捉える練習ですが、難しいものです。また、火星の地名も覚えていきました

(5) これから

熊森さんのお話で取り入れられるところはどんどん取り入れ、今年の大接近を楽しみたいと思っています。また自分の望遠鏡だけでなく、他の大型望遠鏡でも火星を見たいと思っています。一般の観望会は一人の持ち時間が短いので、模様が見えるようになる前に終わってしまいます。ゆっくりと腰を落ち着けて見られる所へ、星なかまの皆さんとお邪魔したいと思っています。

※永長先生のお誘いもあり、月惑星研究会に入会させていただきました。

